うまい・きれい　かほく米づくり
かほく米米情報　第５号

平成30年6月
石川かほく営農協議会
石川県農業共済組合

早急に「中干し」を実施しましょう!!

緊急情報!!

５月は数日の周期で天候が変わり、寒暖の差が多く推移しましたが、生育はおおむね平年並みに経過しました。
今後気温が高く推移する気象予報が出ています。過剰分げつによって籾数が多くなりすぎると「乳白粒」や「くず米」の発生が多発します。まだ中干しを実施していない圃場は早急に中干しを行ってください。

中干し終了時期　ゆめみづほ：６月22日頃、コシヒカリ：７月５日頃

「ゆめみづほ」の一俵増収！　一発肥料でも穂肥を

病害虫防除は遅れないように確実に行いましょう！

うまい・きれい かほく米づくりの運動では10の技術の実践を推進しています。確実に実践しましょう。

推進技術		目標	チェック
1～6	1. 播種量（うす播きの励行）　2. 育苗日数（健苗の育成）　3. 植付本数（3～4本植えの励行） 4. 適正な栽植密度（優良茎の確保）　5. 適正な施肥（栄養凋落防止と登熟向上）　6. 田植え時期（早植えの防止）		
7	**中干し・溝切り** （遅発分げつの抑制）	・田植え**1か月後**からの実施（過剰生育防止） ・中干し期間**1か月**（コシヒカリ）の遵守	
8	**除草・防除** （畦畔等除草とカメムシ防除の徹底）	・7月上旬までの追加除草 ・水稲の生育ステージにあわせた適期防除の実施	
9	**水管理** （飽水管理の徹底）	・中干し後から出穂までの**約1か月**（コシヒカリ）の飽水管理 ・出穂から刈取り直前までの**1か月以上**の飽水管理	
10	**刈取時期** （適期刈取りの励行）	・籾の黄化程度に応じた刈取り	

水稲の生育状況

生育状況（管内生育観測田平均、５月28日調査）

ゆ　め　み　づ　ほ					コ　シ　ヒ　カ　リ				
草　丈（㎝）		茎　　数（本）			草　丈（㎝）		茎　　数（本）		
本年	平年	本年（株）	本年（㎡）	平年（㎡）	本年	平年	本年（株）	本年（㎡）	平年（㎡）
23.2	23.3	9.2	174.4	188.2	26.1	25.7	6.6	122.4	143.2

●株　で　き：ゆめみづほ、コシヒカリとも茎数は平年よりやや少なくなっています。
⇒今後気温は高めに推移する予報が出ています。茎数が急激に増加することも予想されますので田植えから１か月経過した圃場では遅れず中干しを開始しましょう！
●葉齢の展開：ゆめみづほは平年よりやや遅く、コシヒカリで平年並み～やや早くなっています。
●出　　　穂：ゆめみづほの出穂は平年並みの７月20日頃が見込まれています。

今月のポイント１　ゆめみづほの穂肥

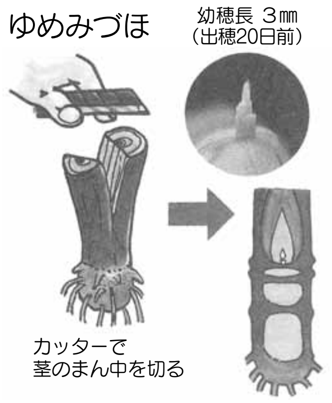
①基肥一発（スリム早生一発くん）　　一俵増収を目指しましょう

BBとれるぞう　10kg/10ａを７月７日～10日を目安に施用（出穂の10日前頃）

②分施タイプ（一発肥料を使用していない圃場）

穂肥の施用時期と施肥量

1回目	2回目
BB有機入りいしかわライト550 20kg/10ａ	BB有機入りいしかわライト550 20kg/10ａ
幼穂長３～５㎜ **出穂20日前**	止葉展開 **出穂10日前**
６月29日～７月１日	**７月９日～11日**



注）幼穂長を確認してから穂肥を施用しましょう。

★穂肥の時期が早すぎたり施用量が多すぎると籾数が過剰になり、未熟粒の発生や倒伏の原因となりますので、必ず適期に適量を施用してください。

ゆめみづほ １回目穂肥時期 （出穂20日前の標準的生育）	草丈 50～55㎝ 茎数 30～35本/株 葉色 4.0～4.2

裏面に続きます

カメムシ防除のため、７月上旬までに畦畔・農道等の仕上げ除草を！

６月23日、24日は一斉除草デーです！

今月のポイント２　コシヒカリの登熟向上対策 ⇨営農の手引き43ページも参照ください

珪酸加里プレミア　30kg/10ａまたは　**ＰＫけいさん特号**　40kg/10ａをまだ施用していない方は早めに施用しましょう。

○「けい酸パワーコシー発くん」を施用した圃場には散布する必要はありません。

今月のポイント３　乳白粒発生防止対策 ⇨営農の手引き16ページも参照ください

～幼穂形成期から出穂後３週間までの水管理は間断通水で～

稲は、幼穂ができ始めてから出穂後３週間までの間に最も水を必要とします。

（幼穂形成期＝ゆめみづほ；６月30日頃、コシヒカリ；７月10日頃）

中干し後は３日間隔の間断通水を行い、土壌表面が常に湿った状態に保ちましょう。

今月のポイント４　カメムシ対策 ⇨営農の手引き15、44ページも参照ください

①カメムシの生息密度を下げるため、**畦畔・農道等の除草**を行いましょう。

→刈った草が用排水路に入らないように注意しましょう。

②**７月上旬までに仕上げ除草を実施し**、中旬以降の草刈りは行わないようにしましょう。

→７月中旬以降の草刈りはカメムシ類を水田内に追い込むことになります。

今月のポイント５　稲こうじ病の防除対策 ⇨営農の手引き46ページも参照ください

止め葉が出るまでに**「Ｚボルドー粉剤ＤＬ」**を４kg/10ａ散布してください。

散布時期は出穂の14～10日前です。（早生：7月８日頃、コシヒカリ：7月中旬）

○常発地や過去３年以内に発生した圃場では、必ず継続して散布を行ってください。

○**玄米に混入すると規格外となります。**

今月のポイント６　イナゴ対策

昨年、イナゴが発生した地区については「トレボン粉剤DL」を３～４kg/10a散布してください。

JA石川かほく米555共励会　今月のポイント

- **●中干しを徹底して過剰生育を抑制し、乳白粒発生防止・単収アップ**
- **●珪酸加里プレミア施用で、登熟向上・品質向上・単収アップ**
- **●畦畔・農道等の除草でカメムシ類の生息密度を下げて、品質向上**
- **●ゆめみづほでは基肥一発肥料を散布した圃場でも「BBとれるぞう」を追加施用し、単収アップ**

「ゆめみづほ」青田研修会日程

開催日	曜日	開催時間	開催場所
6月21日	木	17：30～	ＪＡグリーン前（舟橋）
6月21日	木	17：30～	津幡東支店前
6月21日	木	17：30～	ＪＡ配送センター（かほく市森）
6月22日	金	17：30～	ＪＡ大海倉庫前
6月22日	金	17：30～	ＪＡ萩坂倉庫前

都合のよい会場にご参加ください

水稲栽培履歴への記入確認をお願いします。

◎営農に関するお問い合わせはＪＡ（☎288-7555）、県央農林総合事務所（☎204-2101）におたずねください。